



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月29日

上場会社名 元気寿司株式会社

上場取引所 東

コード番号 9828 URL <https://www.genkisushi.co.jp/corporate/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 法師人 尚史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森田 栄一

TEL 028-632-5711

四半期報告書提出予定日 2022年8月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	12,644	18.0	538		542		576	222.7
2022年3月期第1四半期	10,712		22		13		178	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 736百万円 (313.7%) 2022年3月期第1四半期 177百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	65.26	
2022年3月期第1四半期	20.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	28,237	9,950	35.2
2022年3月期	26,910	9,302	34.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 9,950百万円 2022年3月期 9,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		10.00	20.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,210	14.8	1,070	303.4	1,070	335.0	590	54.7	66.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	8,882,908 株	2022年3月期	8,882,908 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	55,150 株	2022年3月期	55,150 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	8,827,758 株	2022年3月期1Q	8,827,819 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料及びエネルギー価格の上昇や為替相場の急激な変動の影響を受けながらも、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されるもとで経済活動の正常化に向けた動きが見られ、それらに伴い個人消費や外食などのサービス消費を中心に回復に向けた動きが見受けられました。海外経済は、一部の国・地域で感染症が再拡大した影響がありましたが、全体としては回復基調となりました。

しかしながら、先行きにつきましては、感染症第7波による急拡大・長期化に加え、不安定な国際情勢や更なる物価上昇の動向などが懸念され、国内・海外経済ともに不透明な状況と厳しい事業環境が続くと見込まれます。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画（2022年度～2026年度）において基本方針として掲げる『お客様満足度日本一』を目指し、各種施策に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高126億4千4百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益5億3千8百万円（前年同期は2千2百万円）、経常利益5億4千2百万円（前年同期は1千3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、各自治体からの営業時間短縮要請に伴う感染防止協力金を特別利益にて計上したことにより、5億7千6百万円（前年同期比222.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(国内事業)

国内事業につきましては、原材料及びエネルギー価格の高騰が続く中、食材管理の強化や光熱費をはじめとするコストの見直しを行ってまいりました。一方、まん延防止等重点措置が解除され、人々の活動が活発化するなかで、季節・催事に合わせた期間限定商品の積極的な投入と販促・訴求強化につとめてまいりました。これらの営業施策により、既存店の売上高及び来店客数は前年を上回りました。

店舗展開につきましては、1店舗を出店し、2店舗を退店したことにより、国内の総店舗数は179店舗となりました。

この結果、売上高は108億4千5百万円（前年同期比18.2%増）、セグメント利益は1億3百万円（前年同期はセグメント損失1億8千4百万円）となりました。

(海外事業)

海外事業につきましては、米国子会社やフランチャイズ先と連携しながら、現地の状況に合わせた営業支援を強化してまいりました。また、海外渡航の制限が緩和された国や地域に赴き、現地での営業指導や市場調査を再開いたしました。

店舗展開につきましては、1店舗を出店した一方で、1店舗を退店したことにより、海外の総店舗数は214店舗となりました。

この結果、海外事業の経営成績はフランチャイズ地域の営業規制緩和や米国子会社の業績回復等により堅調に推移し、円安の影響もあったことで、売上高は17億9千9百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益は4億4千1百万円（前年同期比55.2%増）となりました。

なお、売上高は米国子会社の売上、フランチャイズ先への食材等売却売上、フランチャイズ先からのロイヤリティ収入（売上高の一定率等）等であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億2千7百万円増加し、282億3千7百万円となりました。これは主に、米国子会社において使用権資産（有形固定資産の「その他」）の増加12億円があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億7千9百万円増加し、182億8千7百万円となりました。これは主に、リース債務の増加10億7千9百万円があった一方で、長期借入金（1年内返済予定を含む）の減少2億8千4百万円があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億4千7百万円増加し、99億5千万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上5億7千6百万円があったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は0.6ポイント上昇し、35.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6千3百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には70億5千9百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、10億2千7百万円（前年同四半期は6億8千9百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益8億8千7百万円、減価償却費4億9千3百万円による増加があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億8千万円（前年同四半期は4億6千2百万円）となりました。これは主に、店舗の新設等による支出4億2千5百万円があった一方で、差入保証金の回収6千4百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億8千5百万円（前年同四半期は6億9百万円）となりました。これは主に、長期借入金の返済3億3百万円、リース債務の返済2億9千4百万円を行ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,995,703	7,059,257
売掛金	1,148,093	1,233,415
商品及び製品	449,081	526,999
原材料及び貯蔵品	76,325	78,969
その他	652,631	550,755
貸倒引当金	△13,458	△13,545
流動資産合計	9,308,375	9,435,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,172,956	10,289,828
土地	700,569	700,569
リース資産	8,035,451	8,019,331
その他	2,037,301	3,523,343
減価償却累計額	△10,738,785	△11,061,480
有形固定資産合計	10,207,492	11,471,592
無形固定資産	559,709	540,935
投資その他の資産		
差入保証金	4,510,038	4,500,914
その他	2,325,297	2,289,331
貸倒引当金	△785	△727
投資その他の資産合計	6,834,550	6,789,518
固定資産合計	17,601,752	18,802,046
資産合計	26,910,127	28,237,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,876,823	1,832,553
1年内返済予定の長期借入金	1,035,351	1,023,364
未払法人税等	358,000	170,826
賞与引当金	246,000	120,000
転貸損失引当金	7,560	7,560
資産除去債務	18,200	18,217
その他	4,201,991	4,442,144
流動負債合計	7,743,926	7,614,665
固定負債		
長期借入金	3,961,178	3,688,298
リース債務	5,095,132	6,174,466
転貸損失引当金	7,270	5,380
資産除去債務	730,787	739,311
その他	69,585	65,628
固定負債合計	9,863,953	10,673,084
負債合計	17,607,880	18,287,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,396,200	2,396,200
利益剰余金	6,866,843	7,354,658
自己株式	△77,116	△77,116
株主資本合計	9,285,927	9,773,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,640	△1,530
為替換算調整勘定	17,960	177,935
その他の包括利益累計額合計	16,320	176,405
純資産合計	9,302,247	9,950,148
負債純資産合計	26,910,127	28,237,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	10,712,294	12,644,462
売上原価	4,422,697	5,274,101
売上総利益	6,289,597	7,370,360
販売費及び一般管理費	6,267,563	6,831,727
営業利益	22,033	538,632
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,879	9,207
受取賃貸料	5,506	4,050
受取手数料	14,224	16,920
その他	3,757	6,798
営業外収益合計	31,367	36,976
営業外費用		
支払利息	23,671	22,974
賃貸費用	10,107	8,799
その他	6,027	1,219
営業外費用合計	39,806	32,993
経常利益	13,595	542,615
特別利益		
助成金収入	283,970	419,750
特別利益合計	283,970	419,750
特別損失		
特別調査費用	—	75,308
特別損失合計	—	75,308
税金等調整前四半期純利益	297,566	887,057
法人税、住民税及び事業税	66,863	181,180
法人税等還付税額	△52,318	—
法人税等調整額	104,511	129,783
法人税等合計	119,055	310,964
四半期純利益	178,510	576,093
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,510	576,093

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	178,510	576,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△270	110
為替換算調整勘定	△271	159,975
その他の包括利益合計	△541	160,085
四半期包括利益	177,969	736,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,969	736,179

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	297,566	887,057
減価償却費	475,749	493,672
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,274	28
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△77,000	△126,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△33,000	—
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,890	△1,890
受取利息及び受取配当金	△7,879	△9,207
支払利息	23,671	22,974
特別調査費用	—	75,308
助成金収入	△283,970	△419,750
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,671	△84,355
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△108,177	△77,409
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,707	△59,056
その他	132,754	313,817
小計	460,584	1,015,189
利息及び配当金の受取額	211	598
利息の支払額	△22,244	△22,817
法人税等の支払額	△80,658	△368,611
法人税等の還付額	15,202	—
助成金の受取額	316,824	419,750
特別調査費用の支払額	—	△16,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	689,920	1,027,174
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△282,323	△299,724
無形固定資産の取得による支出	△80,878	△23,335
差入保証金の差入による支出	△202,792	△102,138
差入保証金の回収による収入	139,561	64,211
その他	△36,118	△19,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	△462,551	△380,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△284,126	△303,153
リース債務の返済による支出	△281,256	△294,504
配当金の支払額	△44,139	△88,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△609,521	△685,935
現金及び現金同等物に係る換算差額	606	102,775
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△381,545	63,554
現金及び現金同等物の期首残高	5,261,705	6,995,703
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,880,159	7,059,257

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(リース(ASC第842号)の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社において「リース会計」(ASC第842号)を当第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。

これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「その他」が1,120,211千円、流動負債の「その他」が199,560千円、固定負債の「リース債務」が1,083,273千円それぞれ増加しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結損益計算書に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,172,942	1,539,351	10,712,294	—	10,712,294
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	9,172,942	1,539,351	10,712,294	—	10,712,294
セグメント利益又は損失 (△)	△184,720	284,770	100,049	△78,015	22,033

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△78,015千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,845,007	1,799,455	12,644,462	—	12,644,462
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	10,845,007	1,799,455	12,644,462	—	12,644,462
セグメント利益	103,168	441,972	545,141	△6,508	538,632

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,508千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。